

2022年6月11日（土）10：00～11：30、本会会員・京都大学経営管理大学院准教授の村井暁子のご紹介により、米国で最も成功を収めた女性50人（Forbes誌）に選ばれた久能祐子（くのうさちこ）先生をお招きしてオンライン勉強会を開催しました。事前登録された会員およびその知人家族を含めて30名が参加されました。

久能様は、1954年生まれ。京都大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士で、1989年にアールテック・ウエノ、1996年にスキャンポ・ファーマシューティカルズ社を上野隆司博士と共同で起業。上野博士が発見した「プロストン」に基づく新薬を2つ世に送り出しました（一兆円の販売を伴う新薬開発）。2000年には若い芸術家、科学者などへの支援を行うS&R財団を設立しています。S&R財団最高経営責任者（CEO）兼理事長。米国ワシントンでは、性の社会起業家の育成（We Capital）、京都ではフェニクシーというご自身が設立された企業の下で、日本の社会起業家育成を行っておられます。また京都大学の非常勤理事としても活躍され、宇沢弘文先生の社会的共通資本や森嶋通夫先生の遺志を組んだ講座を開設するべく尽力されるなど多方面で活躍されておられます。

講演内容は、お話の題目は「跳ぶように考え、這うように証明する！：社会的インパクトが生まれるエコシステム」というもので、アカデミアで活躍されている方を含め特に若い方々に向けられたものでした。アカデミアそのものは存在自体が社会にとって重要なものであるとしつつ、アカデミアから生まれたものを社会に実装することの重要性をお話頂きました。また、事業でお金を稼ぐことは比較的簡単であるが、それを通じて社会的インパクトを出すことは、簡単なことではないとされたうえで、文字通り這うように努力してインパクトを出すために文字通り辛抱強い地道な努力が必要であるということを説いて頂きました。またダイバーシティの重要性にもお話が及びました。

詳細な記録は取っていませんが、類似のお話として添付の京大山極総長との対談録をご参照ください。

参加会員の皆様のうち複数名の方々から多くのご質問を頂きました。

ご報告頂きました久能様およびご紹介頂きました村井さんには心より感謝しております。ありがとうございました。

（記録：安間）